

令和元年 1 2 月 5 日

総務文教委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 総務文教委員会
- 2 日 時 令和元年12月5日(木) 13時33分開会
13時48分閉会
- 3 場 所 第1委員会室
- 4 出席委員 濱田洋一委員長、竹之内和満副委員長、白石純一委員、
竹原信一委員、濱崎國治委員、牟田学委員、
濱之上大成委員、野畑直委員
- 5 事務局職員 議事係長 牟田 昇
- 6 会議に付した事件
・所管事務調査について
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

濱田洋一委員長

ただいまから、総務文教委員会を開催します。

本日は、所管事務調査について協議願います。

まず、学校規模適正化について、閉校後の学校施設の利活用につきましては、先の委員会で薩摩川内市に研修に行ってみてはどうかということで意見がありましたが、閉校後の利活用については、新聞報道による薩摩川内市の事例のほか、いくつか抜粋しておりますので、参考をお願いします。また、文部科学省が本年3月に出しております廃校施設等活用状況実態調査の結果、そして、廃校活用に関する手続についての資料も配布いたしましたので、参考をお願いします。

なお、この件の視察については、年を明けて1月もしくは2月上旬に実施したいと思いますが、次の委員会で決定いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、川内原子力発電所の安全性と40年経過後の稼働についてですが、川内原子力発電所の視察及び調査を実施いたしました。このことを踏まえ、特に川内原発の安全性について、本市では、2月9日、日曜日ですが、原子力防災訓練を実施の予定です。

そこで、この訓練を視察し、防災上の安全性も確認するため、訓練の状況を見たいと思いますが、このことに関して各委員の御意見を伺いたしたいと思います。

各委員から御意見はありますか。

竹原信一委員

その件はとてもいいと思いますよ。やっていただきたいと思います。

濱崎國治委員

阿久根市全域、それともモデル的なところを決めて訓練はあるんですか。特に避難訓練等は他市町への避難とか、そういうのもするとすれば、全区ではなくで、どこかあるんじゃないかと思うんですが、それは。

濱田洋一委員長

今回、原子力防災訓練ということで、赤瀬川地区の方々が対象となっております。避難経路、避難先というのは始良市ということで計画をなされているところであります。ですから、我々委員として同行して、そういった避難訓練がなされているか、避難所に行ってからどういう対応をされているのか、というようなことをですね、委員の方々にも見ていただきたいということもありまして、来年の2月9日ですけれども、どうでしょうかというところでございますが、ほかの委員の皆様方は何かありますか。

野畑直委員

私は赤瀬川に住んでおりますので、赤瀬川の役員としても参加しなければならないと思っていますところで、行動は、そのときは私は赤瀬川地区のほうで行動をしなければならないと思っていますので、この総務文教委員会とは別行動にさせてもらってよろしいですか。

濱之上大成委員

いいんじゃないですか。生の声をこの人から聞きたいから。

濱崎國治委員

やはり議会のほう参加されたほうが。委員会の調査として。

野畑直委員

私にはですね、おそらく役割があると思うんですよ、区の。そこまで具体的な話までいってありませんけれども、私が言っているのは区のことについて、防災対策等について私は入ってやるように言われてるものですから、もちろんそのつもりでありますので。今、濱崎委員がわからないではないですが、実際の行動をとるべきの体制はそういうふうになると。赤瀬川地区で始良のほうに決まっておりますので、前からですね、始良のほうに避難をすると。そういうことの段取り等について、おそらくそっちのほうをしないといけないと思っておりますので、今、申し上げたところですがそれでも。

竹原信一委員

委員会で物事やるというのは、団体行動、集団行動をすることが目的ではなくて、情報を収集して市のあり方を考える材料にすることでございますので、みんなで行かなきゃいけないという考え方じゃなくて、例えば川内でも1人で調査に行っ、こうして報告してもいいわけですよ。目的を集団行動に意義を求めるのはちょっとおかしいのかなと思います。だから、むしろいろんなところに行くちゅう方法もあるだろうと思いますから、一緒に行きなさいなんてやること自体が変じゃないかな。

濱崎國治委員

今の竹原委員の話はちょっとおかしいと思いますよ。阿久根市の総務文教委員会としての視察ですから、竹原委員がおっしゃるのは、それはどこでも行っていいんじゃないですかとか、それはちょっとおかしいんじゃないかと思うんですけどね。

竹原信一委員

私が申し上げているのは集団で動くことを目的にする必要はないと言ってるわけですね。情報を集めて、結局、委員会のための仕事ではなくて、市の行政、施策に資するためのものでありますから、集団的に行くことに価値は大してないと思いますよ。

濱崎國治委員

我々は総務文教委員会の所管事務調査として行こうとしているわけですから、集団的も何も、所管事務調査で行こうとしているわけですから、その話はちょっといかなものかと思えますよ。

竹原信一委員

所管事務調査というのは、総務文教委員会が所管していることについて調査をする。言葉の意味どおりでありまして、みんなで一緒にどっかに行きましょうということではありません。

濱崎國治委員

今の意見はどうかと思いますよ。我々が今決めようとしているのは、総務文教委員会で所管にあたるそれを2月9日に防災訓練があるから、そこを調査しましょうということですから、あなたのおっしゃるのはちょっと意味が違うんじゃないですか。

[発言する者あり]

濱田洋一委員長

挙手をしてから発言をしてください。

濱之上大成委員

濱崎委員がおっしゃるのはごもっともなことであります。ただ、問題点として、今回、たまたまですね、野畑委員がその地区にいらっやって、現状の中、役割分担というものもあるやもしれません。そういったものは逆に、私たちのプラスアルファとして、生の声として

参考にもなるので、ここはひとつ野畑委員のおっしゃる行動は野畑委員にお任せし、私たちは私たちできちっと所管事務調査というとらえ方で参加するというふうな形がいいんじゃないですか。

濱田洋一委員長

そもそも所管事務調査というのは、我々総務文教委員会ということで属しております。その中で、所管するテーマ事項を決定させていただきました。そして、今回は原子力防災訓練ということで2月9日、明けてですね、開催されるということで、実際、どういった避難の流れ、そして行く過程でいろんなことがあるかと思えます。そして、避難所に着いたときの対応であったり、やるべきことであったり、そこを委員会として一緒に総務文教委員会としてやりましょうということですから、先ほど竹原委員が言われたように、それは単独でも個人でも、この委員会とは違うことです。

[発言する者あり]

ちょっとだまっとってください。

ですから、今回ですね、野畑委員のほうを対象地区は赤瀬川ということで、その地元にいらっしゃいますので、いろんな役であったり、より身近な避難行動ということでやられるということで、その件についてはある意味いいことではないかと私は思いますけれども。そのほかの委員の皆様におかれまれば、いわゆる別便でということになりますが、そのように防災訓練の視察をした中で、最終的な原子力の安全性、また避難の対応と、そこを含めてまとめにしたいというふうに私は思っておりますが、皆さんどうでしょうか。

牟田学委員

先ほどからありますけれども、結果的に私たち総務委員会が赤瀬川に出向いて見るとしても、たぶん、外のほうから、外部のほうからでしか見ることができないと思うんですよ。そういった中で、赤瀬川地区の役員でもある野畑委員が、その中身のほうをですね、それはそれでしてもらえば、それを報告をもらいながらすれば、よりいい調査になるんじゃないかなというふうに思います。

濱崎國治委員

私もですね、おとしですか、役員として防災訓練に参加して、津奈木のほうまでずっと避難するという訓練だったんですが。私自身も役割をもらって、あるいは自分は何の係だよということをやったりしたんですけど、私の参加したことからしますと、実際のいざというときには、確かに野畑委員がおっしゃるとおり、地域の中でというのもなんですけれども、そこ辺りが委員会としての調査ということからすれば、その辺はどうなんだろうかなという感じもします。

[発言する者あり]

濱田洋一委員長

ほかにありませんか。

濱之上大成委員

総務文教委員会としてやるということは決まっているわけですね。

[発言する者あり]

決めるんですよね。決めることとして、たまたま今回、野畑委員はこういうことだったということなんですよね。それが1点だけですね。もしよければ、私は何度も言いますが、委員会として行くんだけど、もちろん野畑委員は野畑委員で赤瀬川の役員というとらえ方の、牟田委員がおっしゃったように、両面でいうとらえ方にして、臨機応変にそ

こはそういうふうな形でしていただけたらいかがですかね。私は個人的にはそう思いますけれども。

濱田洋一委員長

各委員の皆様方からそれぞれ話ができましたけれども、先ほど来、牟田委員、濱之上委員から話がでておりますとおり、私も総務文教委員会ということで、今回、見させていただきますけれども、赤瀬川地区の役員ということで野畑委員がそちらに行かれて、また、プラスアルファという形でもお話でもいただければ、よりよい視察になるのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは2月の原子力防災訓練を視察することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議がありませんので、視察することといたします。

詳細が決まりましたらお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

白石純一委員

閉校後の学校施設の利活用についてですけれども、今、いただいている資料以外の箇所でもこういうところを見たいんですけどもというものがあれば、次に出していいですか。

濱田洋一委員長

それはぜひお願いします。白石委員からありました閉校後の利活用のことですけれども、皆さんのほうでここがいいというのがあれば教えていただければ大変助かりますので、よろしくお願いいたします。

以上で本日の委員会を散会いたします。

(散 会 13時48分)

総務文教委員会委員長 濱 田 洋 一